

未来へのたねをまこう



～放課後等デイサービスの取り組み～



放課後や土、日、祝日などの学校休業日に子どもたちが安心して過ごせる場所として、放課後等デイサービスという事業があります。あすわ児童発達支援センターでは『子ども発達支援センターフレンズあすわ』と『フレンズみゆき』で、この事業を行っており、学齢期の利用者の方に対し、余暇や交流の機会の提供をはじめ、それぞれのライフステージに合わせて社会参加の機会の提供など、さまざまなことに取り組んでいます。

今回「将来への準備」という取り組みについてご紹介します。

放課後等デイサービスとして

当センターでは、子どもたちがリラックスして過ごせる集いの場、または楽しい交流の場としての機能を大切にしつつ、遊びや地域への外出等を企画・提供しています。これらの体験を通して、余暇の充実や生活する力の習得等を目指しつつ、日々サポートさせていただいています。

将来に向けてかかわるわけ

当法人には、就労支援事業所が複数あります。子どもたちの高校卒業後の進路に役立てられるよう連携して、施設の見学や体験する機会を設けて、将来へのイメージ作りをサポートしています。高校を卒業して、社会人として生活環境が変わり、社会生活を始める時に、学齢期での経験が活かされます。実際に働く場に触れて、自分がどのようなことを

したいのか、どのようなことが得意かを知っていきます。また苦手なことについては、どのような手助けをするか、過ごしやすくなるのか、生活する上でのヒントが明確となります。

小学校低学年の方では、まだ先のことと思われるかもしれませんが、将来に向けて情報を集めたり、実際に見学したりすることで、子どもたちの特性に合わせた支援を始めやすくなります。

当センターで行っている取り組みの中から2つの事例をご紹介します。





フレンズあすわ
ランチ外出

社会参加活動の一つに、当法人が運営する「県議会食堂あすわ」へのランチ外出があります。

この活動の目的は、卒業生が接客スタッフとしてオーダーを取ったり、料理を運んだりしている姿を、在学中の利用者の方が実際に自分の目で見ることで、刺激を受け「自分も卒業したらあんなふうに住事をしたいたい」「あんなふうに住事ができたらいいな」と少しでも感じていただくことにあります。



子どもたちからの感想

- ご飯おいしかった。また行きたい。
- 自分で注文して、自分でお金を払ったよ。
- お店の人が知っている人がいてうれしかった。
- ○○さんが働いていた。すごく格好良かった。
- お店の人がみんなやさしかった。

フレンズみゆき
親子イベント



昨年、親子イベントの中で、スマイルと足羽サポートセンターの見学会を開催しました。

それぞれの事業の内容や利用者の方の過ごし方等について説明を受けつつ、実際に働かれている場面を見学しました。

ご家族からの質問では「自宅からの送迎は行っていますか?」や「大勢の利用者の方で作業する中で利用者同士のトラブルがありますか?」など具体的な質問が挙がっていました。

将来に向けたイメージをもつきっかけ作りとなりました。



ご家族からの感想

- 将来について不安があったが二つの施設を見学して少し安心できました。
- 今後の参考にしたいと思っています。
- ふだんは就労支援施設を見る機会がないので勉強になりました。子どもの将来についても考える良い機会になりました。

まとめ



このような活動を通して、利用者の方が夢に向かってすすむ準備をお手伝いしています。実際に体験し、触れることで、利用者の方が少しでも何かを感じとり、気づきを得ることで、将来の身じたくになればと思っております。

また子どもたちの将来については、ご家族と共有しながら、私たちはサポートさせていただきます。当初は職員のアイデアからすすめられた取り組みですが、子どもたちにもご家族にもきっかけ作りとして意義のあるものとなりました。

これらの活動が糧となり、いつの日か利用者の方一人ひとりの花が咲かせられますように。